

# 議 事 録

会議等の名称	第2回 東御市脱炭素化事業推進協議会 再エネ化推進部門分科会	開催日時	令和5年11月27日（月） 午後4時30分～午後6時00分
		場 所	本庁舎2階 第二委員会室
主催者(事務局)	市民生活部 生活環境課	司会者	唐澤 真崇（ゼロカーボン推進係長）
出席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり		
欠席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり		
議 題	(議題) 意見交換 ・重点対策加速化事業における間接補助事業について	(配布資料)	なし
決定事項	なし		
確認・検討事項	重点対策加速化事業における間接補助事業について ・他市町村の事例を参考にするとともに、再エネの拡がり地域経済循環の両立に向けた補助要件等の検討を進める。		
次回への検討事項			
次回開催	(日時)	未定	(場所) 未定

討議内容及び経過	(発言者名)	
1. 開会	唐澤係長	(開会)
2. あいさつ	分科会長	(あいさつ)
3. 意見交換	委員	・太陽光を普及させていくにはお金がかかり、市民に対し魅力的なものがない
		と広がっていかない。
	唐澤係長	・既に採択を受けている重点対策加速化事業により、来年度は補助金を交付す
		ることを考えている。
	田中主査	・事業実施期間は令和6年度から令和10年度までである。
	唐澤係長	・本年10月からは1kWあたり14,000円、上限70,000円市の単独補助事業を開始
		している。
		・重点対策加速化事業による補助金はFIT制度が利用できない。
	分科会長	・今は自家消費する家庭が多い。
		・FITは色々縛りがある。
	田中主査	一般住宅用に関しては新築のみで検討している。
	委員	・東御市の新築件数はどのくらいか。
	田中主査	・年間120件程度である。
	分科会長	・県などの補助金は既存住宅のみで、新築を対象とするケースは少ない。
	田中主査	・新築に限定するとハウスメーカーが中心となることが想定される。
		・設置業者に縛りを掛けることで市内の経済循環に繋がればと考えている。
	委員	・新築に限定し、設置事業者を市内業者に限定することは難しいのではないか。
		ハウスメーカーではそれぞれでパネル設置の用意がある。
	委員	・ハウスメーカーとしては建てた家の屋根に穴を空けられ、パネルを設置さ
		れるとなると補償を付けないなどの問題が生じる。
	分科会長	・新築に限定することは無理だと思う。
	田中主査	・民間施設については新築・既築の縛りは考えていない。
	委員	・事業規模での縛りは考えているか。
	田中主査	・市内にある事業所を対象とし、縛りは考えていない。
	分科会長	・国からの補助金が市内に落ちないということは市として不本意ではないか。
	唐澤係長	・市内でお金が循環されることが望ましい。
		・今、パネルを載せたいという方は一定数いるのか。
	分科会長	・住宅用の太陽光は載せた方が有利な状況である。
	委員	・そういう意味では、電気代の高騰もあり一番良い状況である。
	委員	・蓄電池は補助の対象か。
	田中主査	・蓄電池も対象である。ただし、重点対策加速化事業を使用する場合、パネル
		とセットで導入する必要がある。
		・本事業ではFIT制度を利用できないので、なるべく発電した電気を蓄電池

